

平成23年度 琢成小学校経営構想

子ども・保護者・地域に信頼される学校

学校経営目標

心を拓く：声かけあって未来をめざす〔気品を備え〕
 学び摂る：かしこい知恵の麓を築く〔高きを求め〕
 走り貫く：心と体を日々に鍛える〔たくましく生きる〕

いのち輝く学校(県の重点)

「いのちの教育」の指針をもとに
 ・自尊感情を育む
 ・他の生命や存在を大切にする

公益の学校(市の重点)

「公益の心」を育む
 ・自分ができていることを考える
 ・公益的な活動の実践

学年・級外ブロック制

- ① 教職員同志のコミュニケーション
- ② 主体的なブロック運営
- ③ ブロック長のリーダーシップ
- ④ 話し合いの場の保障

同僚性の構築

※同僚性＝同僚が本当の意味で助け合い
 仲間になって仕事ができる状態

<国・県・市の施策>
 ・生きる力と確かな学力
 ・いのち まなび かかわり
 ・コミュニケーション能力
 ・「公益の学校」「元気な学校」
 ・特色ある開かれた学校

<願う教師の姿>
 ・同僚性を大切に
 (学び合う仲間)
 ・授業、子どもに対して誠実である
 ・マネジメント能力
 ・明るさがある

<児童の姿>
 ・落ち着きがあり、素直な
 子が多い
 ・人間関係をうまく結べない
 子が見られる
 ・基礎基本の定着はよい
 知能なみの学力欲しい
 ・体位・体力は県平均より
 劣る

<保護者の願い>
 ・児童は充実した学校生活
 を送っている
 ・意欲的な学習態度、規範
 意識を身につけさせたい
 ・教職員と気軽に話し合い
 たい

特色ある学校づくり

エネルギー・環境教育

◎ 酒田市の実践校として
 ・省エネできる子の育成 ・クラブ・委員会活動を通して
 ・エネルギー学習週間の設定・エネルギー系統表をもとに

健康教育

◎ 「いのちの教育」の一貫として
 ・「心と体の学習」の積み上げ ・教科体育での体力向上
 ・食育の充実

今年度の重点

<こんな学校に！>

1 学力の向上を図る

- ① 授業づくり(子どもも教師も共に学ぶ)
 - ・同僚性の構築(子どものこと授業のことが話題になる職員室)
 - ・一時間一時間の授業の充実(時間で始まり時間で終わる)
 - ・学年段階に応じた家庭学習(授業と関連づけた家庭学習)
- ② 読書指導の充実
 - ・読書量と質の確保 ・市立図書館の活用 ・図書管理システム利用指導

<学習がよく分かる>

年度	子ども	保護者	教職員
19	91.0	93.3	86.7
20	89.3	88.8	100
21	80.7	84.6	100
22	81.9	87.3	100

2 児童の豊かな心を育てる

- ① 学級・学年経営の充実
 - ・学級の思い、学年の思いを大切にする ・「聴き合う」学級集団づくり
 - ・QUTESTのさらなる活用 ・「琢成しぐさ」の実践
- ② 多面的な児童理解
 - ・子どもサポート会の推進 ・級外の応援体制 ・規範意識・自尊感情を育てる
- ③ 公益の心を育む活動の推進
 - ・自分ができていることを考え実践する・公益の活動を取り入れたキャリア教育の推進

<好きな友達がいる>

年度	子ども
19	91.0
20	94.0
21	89.0
22	87.9

3 個に応じた支援の充実を図る

- ① 教育相談体制の充実
 - ・年3回のふれあい週間の充実 ・全ての情報は教頭へ集約する
 - ・ブロック会、子どもサポート会、プロジェクト会の充実
- ② 特別支援教育の充実
 - ・個別指導・取り出し指導の充実 ・コーディネーターによる支援
 - ・特別支援学級との連携

<楽しい活動がある>

年度	子ども	保護者	教職員
19	91.0	95.3	100
20	87.2	93.7	100
21	86.9	89.4	100
22	86.5	90.5	100

4 開かれた教室・学校をつくる

- ① 教室(個)を開く
 - ・授業や活動の見合い
 - ・「学級の子どもを育てる」から「学年の子どもを育てる」という意識へ
- ② 保護者・地域との連携
 - ・子どもの成長を通して信頼関係を築く
 - ・保護者との気軽な話し合い(授業参観・学級懇談会等の工夫)
 - ・地域活動(地区運動会、酒田祭等)への支援・協力

<やさしい担任の先生がいる>

年度	子ども
19	66.2
20	71.8
21	73.1
22	76.7

学校評価

自己評価(教職員) *児童、保護者アンケート

学校関係者評価(学校評議員)＝学校関係者評価委員会

改善計画 → 公開 → 提出(市教委)